



「笑顔とつながり」

# 永田台

サステナブルスクール

No.522 7月号  
横浜市立永田台小学校  
TEL(714)4277  
令和元年6月28日



進んであいさつ  
笑顔あふれる  
住みよいまちに



## 備えあれば、憂い少なし

校長 武山 朋子

山形県沖で発生した地震は、深夜の発生であったことに加え津波注意報も発表され、多くの方が不安な思いをされたことと思います。心よりお見舞い申し上げます。

この地震では、過去の津波の経験をもとに続けてきた訓練の成果で、多くの方が地震直後に高台への避難を開始したとのこと。何人の方が口にする「訓練をしておいて本当によかった。」という言葉に、日頃の備えの大切さを感じます。

本校では、6月22日（土）に「連帯と防災の日」として、土曜参観を行いました。昨年度まではこの日に避難訓練を実施し、参観の保護者の皆様にも参加していただいていたのですが、今年度は様々な「安全のための学習」の機会を設け、保護者の方も参観しながら一緒に考えたり学んだりしていただける機会としました。

「安全」について考えるということは、いざというときに自分がどう行動すればよいかを考えておくことであったり、インターネットなどの便利な道具を上手に使いながらも一方でそこにある危険についても正しく知ることであったりと、さまざまな意味があります。いずれにしても、「自分の身は自分で守る」

ことができるよう、日頃から備えておくことが大切です。週末に各ご家庭で、この日学んだことが話題になっていたでしょうか。

- ◆サイバー教室（3～6年 協力：南警察署）
- ◆応急処置（5・6年 協力：六つ川消防出張所）
- ◆防災に関する学習（1・2年）



同じ日に、「まちの教育懇話会」としての「若木の会」を開催し、日頃より本校の教育活動を支援していただいている地域の方々、自治会の方々、近隣の幼稚園・保育園の園長先生方にお越しいただきました。子どもたちの様子をご覧になった後で懇談会を開き、本校の教育活動への様々なお声をいただきました。

「近所の子どもがね、『あれ、おじさん、今日はどうしたの?』と声をかけてくれて。」と嬉しそうに語ってくださる方もありました。

「自分の意見をしっかり発表していて、学び合っているのが立派でした。」と語ってくださる方もありました。

地域の皆様は本当に永田台小学校のいちばんの応援団です。「子どものために何ができるか」と常に考えてくださいます。そんな地域の皆さんと、各ご家庭では「顔の見える関係」が築けているでしょうか。

災害はゼロにすることはできません。「だから防災よりも減災を」と言う方もあります。「日頃からの訓練」と「顔見知りの関係づくり」はそのための大切な取組だと考えます。